

2021年度

第2回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和4年3月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第2回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和4年3月 3日（木）13：30～15：30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：(有)ミヨシ取締役社長 三好 政明先生

(有)大和インターナショナル代表 遠山 一行先生

小原校長・吉川事務局長・小口教務主任・桐山広報企画部長

○小原校長より

新型コロナウイルスについては、学校として対策をしているが、引き続き、気を緩めず職業実践認定校として、頑張っていきたい。

委員の皆さんから、客観的な意見をいただき、前進することが出来ている。

今後もより一層ステップアップしていきたいので、忌憚ないご意見を出して頂きたい。

【議題】

1. 令和3年度第2回自己評価委員会報告

令和3年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和3年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の2項目・教育活動の6項目・学修成果の2項目・学生支援7項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、また、評価4から評価3になった項目については、今後の課題・方策を報告した。評価4を今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。

（基準1） **総括** 「教育とは教える者と教えられる者との関わりの中で、人を変える営みである」技術教育機関である本学園は、人格・技術共に豊かな変貌を期待できる全人的な教育を目指しています。

教える者・教えられる者ともに今よりも一歩前進を心掛け、未来に繋がる確かな技術を、創造的に先取りできる人材育成を似なつて、教育理念とします。

- ・令和2年度の国家試験対策を見直し、受験者全員の合格を目標に掲げ、全校一丸となって取り組んでいる。
- ・7/9（金）延期していた2年生修学旅行を実施した。
（富士急ハイランドコースと松代・白馬コースの希望者に分けて日帰り日程による実施）
- ・8月21日～22日ビューティビジネス科のパルコ実習は中止とした。
- ・9月23日（木）Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催を各校の取り組みに変更して実施した。
- ・12月20日（月）～21日（火）延期していた1年生修学旅行を実施した。
（大阪ユニバーサルスタジオと道頓堀見学を一泊二日で実施）
- ・12月20日（月）～21日（火）BB科2年生テーブルマナー研修
（エクシブ蓼科にて1泊2日として実施）
- ・令和5年度開催を視野に入れて Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催の準備を続けていく。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

・国家試験合格率が悪かった要因は？

→特に、学科不合格者が多かった点について、学校として対策・フォローを行っている。

要因として、実技とは違い、目に見えない部分である。本校の特色として、生徒同士が教え合う事が強味であったが、新型コロナウイルスの影響もあり年々、むずかしくなっている部分もあると感じている。

指導方法の難しさを模索中である。国家試験に対する生徒の温度差もあり、団結することが難しい。

- ・サロンでも新人教育の難しさを感じている。技術のみでなく、道徳。働くこととは？など、モチベーションをあげることに重点を置かなくてはと感じている。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・生徒指導の難しさは理解している。あきらめずに、継続して行ってほしい。

今後の改善方策

- ・教育理念の重要さを改めて見直し、めざす職業の多様化に合わせて修正をし、向上していきたい。
- ・学習指導のみでなく、生活習慣の大切さを引き続き伝えていく。

(基準2) 総括 令和3年9月 職業実践専門課程認定校 フォローアップ申請を行った。

- ・令和3年9月23日(木) Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催を各校の取り組みとして実施した。
- ・延期を余儀なくされた修学旅行等の学校行事は、感染対策を取り入れることで、概ね実施することができた。
- ・令和2年～3年にかけて、コロナ禍によりリモート授業が実現した。課題はあるものの、今後の授業形態として通信環境、発信体制等を順次整備していく。

学校関係者評価委員コメント

- ・コロナ対策は本当に大変だと思うが、きちんと学校として対応しているので、問題ない。

今後の改善方策

- ・今後も在校生満足度に重点をおき、魅力ある学校づくりに力を入れていく。

(基準3) 令和3年度 職業実践課程フォローアップ申請に伴う実習内容の充実を、「教育課程編成委員」「関係者評価委員」からの提言をもとに推進させる。

- ・令和4年度から、選択必修に「シャンプー&ヘッドスパ90時間」を加えることで、美容サロンからのニーズを実習授業に反映させた。また、2年次選択授業の「メイク、ネイル、パーマ、ヘアセット」から内容を変更した。

令和4年度 2年次選択授業4教科

○前期30時間：「メイク、ヘアセット、カット、まつ毛エクステンション」

○後期30時間：「ネイル、カット、ブライダル、カラー」

- ・令和4年度より選択必修「シャンプー&ヘッドスパ」を1年次30時間2年次60時間、計90時間として実習計画に組み入れた。
- ・ビューティビジネス科のブライダル実習90時間から100時間として内容を充実させた。
- ・令和3年度1月の理美容科1年生実務実習は3月に延期した。
- ・嘱託、外来講師による授業、実習においても、授業、実習の主体は担任教師と専任教師である。各教科のシラバスを元に、内容の把握から生徒理解の現状に注視して、特に事前準備とまとめには担任教師が積極的に関わっていく。
- ・教職員自己評価表を行い、提出をすることで、勤務状況、教務の状況等、個々の課題発見と共に教職員間の連携に対する意識喚起の機会とした。
- ・令和3年度美容科1名の教員を増員した。
- ・令和3年度、両校交流研修会は感染対策を講じて、松本校にて6月と7月の2回開催した。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

・シャンプーヘッドスパ技術において、学校とサロン差があるが、指先の力加減をもっと、入社前に身に付けさせてほしい。相モデル実習をもっと活用していくことで、基礎力が身につく、永く勤められるのでは。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

・新型コロナウイルスによる求人の影響はあるのか？

→若干はあるが、基本的にはコロナ渦でもサロンニーズに変化はない。

学生募集の点においては、他業種と比較しても理美容業界は、コロナの影響がなく、逆にお客様から求められている業種である。売上げが伸びていることを説明している。

・新人教育がより難しい面もある。コミュニケーションの取り方の変化もあるのでは。

今後の改善方策

・コロナ渦の中で、手に職をつける。理美容の仕事は、良い意味で追い風の部分があるので、引き続き、求められる職業として、業界の方と協力をしながら、本校の魅力を伝えていく。

(基準4) 総括：令和3年9月23日（木）Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催を各校の取り組みとして実施した。

- ・延期を余儀なくされた修学旅行等の学校行事は、感染対策を取り入れることで概ね実施することができた。
- ・令和3年度理美容科国家試験対策として、模擬試験問題、ポイント集、対策プリントの見直しを行い、試験授業の充実を図る。
- ・令和3年度、スクールカウンセリング日程を調整して、5月と8月の相談機会を増やした。
- ・令和3年度 退学者3名 休学者2名
 - 退学（BB科1年生2名、美容科2年生1名）
 - 休学（美容科1年生1名、美容科2年生1名）

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

・休学・退学者について、心の教育の大切さを感じている。初期教育が重要になっていくのでは。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

・保護者の在り方も変化し難しい時代である。大変だと思うが頑張してほしい。

今後の改善方策

・自分に注目してほしい生徒が多い。担任のみでなく、学校全体としてのサポート体制は出来ている。検定取得のみでなく、人間性・教育の質の向上に力を入れていきたい。

(基準5) 総括 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進した。

- ・令和3年9月23日（木）Beauty Collection 長野校、松本校の合同開催を各校の取り組みとして実施した。
- ・延期を余儀なくされた修学旅行等の学校行事は、感染対策を取り入れることで、概ね実施することができた。
- ・新型コロナウイルス影響により、1回目就職ガイダンス県内サロンのみ実施。2回目は通常通り実施。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう準備し、実施している。
- ・令和3年度新型コロナウイルス感染防止策として、県内サロン33店舗に限り5月1回目の就職ガイダンスを行った。6月第2回は県外サロンも感染対策を条件に就職ガイダンスを実施した。

- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう実施。
- ・昨年に続き、特に県外への就職指導は就職部との連携を密にして取り組んでいく。
- ・昨年度から続く、感染対策により不自由な学校生活となっているが、担任教師による個人面談、スクールカウンセラー、ロングホームルームを活用して目標に向かう気持ちの維持に働きかける指導を実施している。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。(奨学金対象者数)

令和2年度「給付型修学支援」対象者 1年生9名 2年生12名 -11%

(奨学金対象者：1年生19名 2年生34名) -27.7%

令和3年度「給付型修学支援」対象者 1年生24名 2年生8名 -16.1%

(奨学金対象者：1年生42名 2年生18名) -30.3%

- ・学校行事、長期休業後の感染防止対策として、抗原検査キットを用いた取り組みを行った。
- ・令和2年度・3年度の、「理美容甲子園」は開催が中止となった。フォトコンテスト、リモートコンテスト等の参加を促した。
- ・令和4年度入寮希望者に対して、周辺アパートを確保して男子寮・女子寮として活用する。
- ・令和3年度における学校運営に、大きな問題は生じていない。今後の行事等の運営については適時、保護者連絡を行い丁寧に進めていく。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・大変な時代であるが、あきらめずに学校としてきちんと対応してくれているので、安心している。本当に学校として努力をしてくれている。頭が下がる想いである。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・コロナ渦で、やれない事が多いが、工夫をして思い出を作ってあげることは大事である。学校での経験が、今後の人生において必ず良い方向につながる。

今後の改善方策

- ・就職活動内容が、変化してきているため、オンラインへの対応など、今後もより一層時代に沿った就活ができるよう、就職部と協力していく。
- ・今後も在校生満足度に重点をおき、委員の先生方のご意見を参考に、魅力ある学校づくりに力を入れていく。

(基準6) 総括 今後の感染症対策授業として、オンラインを活用した資格試験対策、国家試験対策の授業システムを構築する。

- ・令和3年度は、感染対策を徹底し5月に2年生の実務実習を3日間実施した。
- ・令和2年度延期とした修学旅行は2年次7月に日帰り計画で実した。
- ・ビューティビジネス科「パルコイベント」は感染防止を理由に中止とした。
- ・「ビューティコレクション」は会場を松本校として9月に実施した。
- ・1年生修学旅行は日程を延期したが、12月に目的地を大阪 USJ に変更して実施した。
- ・BB科2年生マナー研修はエクシブ蓼科にて実施した。
- ・1年生理美容科の実務実習は1月から3月へ日程変更を行った。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・実務実習について、サロンとしては受け入れ問題ないのでは。きちんと学校側の意図を理解して頂けるサロンなら大丈夫では。学校支援サロンとして、責任もって受け入れます。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・コロナ渦で大変だと思うが、実務実習はサロン経験が出来る大切な機会である。チャンスは、対策をきちんとして経験させるべきである。1つでも多くの成長出来る機会を与えてほしい。

今後の改善方策

- ・今年度は各イベント・大会が中止になっているため、現状で実施できる校内イベントなどを計画している。学生たちの満足度を上げるため、実施していきたい。やり方を工夫し、在校生の満足度を上げることに重点をおき、実行していきたい。

(基準7) 総括：継続し学生募集に力をいれていく。

- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する。打ち合わせを開始している。
- ・学園HP内容リニューアル準備業者に依頼し、進めている。
- ・ネット広告の検討開始。
- ・令和5年実施に向けて入試制度・特待生・指定校の見直しをし、募集要項作成済である。
- ・特待生・指定校生の入試制度変更内容について、高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・令和5年度学生募集から推薦入試選考方法の変更をし、募集要項作成。
「特待生入学者、指定校入学者において事前作文提出と当日面接」
- ・令和5年度より実施する入学願書（志願理由書）の準備を開始している。
- ・在学特待制度の設立については、検討中
- ・令和6年度学生募集までにWeb出願制度を構築するため、業者との打ち合わせを実施した。
- ・新入学制度説明のため、5月・6月高校廻り実施準備を開始している。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・学生募集について、少子化であるため、大変な部分もあると思うが、前向きに努力して頂き安心している。素晴らしい学校である。入口から卒業まで。また、卒業後のサポート体制が整っている学校である。特色を活かして、引き続き頑張ってもらいたい。
- ・業務委託のサロンが増えてきている。各サロン引き抜きもあるが、学校としてはどう感じているか？
→生徒の就職希望先として、業務委託サロンを希望する生徒も居るが、1割程度である。就職部から、事前にきちんと説明をしている。
→いろいろな形式のサロンが増えてきている。就職部として、就職ガイダンス時に学校としての考えは伝えていく。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・ジュニアスタイリストの在り方が原因では、サロンを出店し続けていかななくてはいけない。独立しやすいサロンが業務委託である。ヘッドハンティングの時代である。

今後の改善方法

- ・美容師としての職業の価値を向上していくため、学校と業界の連携を引き続き行っていきたい。
- ・学校の特色をきちんと伝えられるような広報活動をしていく。委員の先生方から頂いた意見を参考にし、前向きな方策を検討していく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について（別紙1参照）

（1）令和3年度重点目標実施報告

① ビューコレ2020への取り組み ②学生募集と就職指導の充実 ③感染対策の習慣化

- ・感染状況に考慮して各校におけるビューティコレクションの開催とした。
感染拡大防止として、保護者等の観客を入れない代わりにインスタグラムにおけるライブ配信、HPにおける動画配信を行った。
- ・各テーマに基づく作品制作をグループで行うことにより、生徒間での切磋琢磨することで達成感を得ることができている。また、感染予防の観点から、マスクを用いたヘアメイクデザインに対しても抵抗無く互いに意見を出し合うことで、よりよい作品制作と、個々を認め合う人間力を向上させている。
- ・オープンキャンパスにおいて、クラス単位で行った体験においては、各クラス、体験内容を検討し参加する高校生が楽しめるようにした。参加高校生が、多くの在校生と関わり、話をする中で、高校生が理美容学校生活をイメージしやすく、高評価であった。また、在校生も高校生と関わることで責任感を持つことのできる機会でもあった。今後も多くの在校生と関わる機会を設けていく
- ・クラス担任の個別指導と合わせ、学年主任も含めた指導の中で、生徒指導、面談を行うことができ、生徒の状況を学年で共通理解ができている。また、生徒の様子が担任以外の職員が把握することで、早めの対応がとれるようになっている。
- ・家庭内含め濃厚接触者、または、接触者の疑いがある場合、リモート対応を行うなど、早めの対応をすることで学校内の感染拡大を防止している。
また、各教室へサーキュレーターを設置することで、空気の循環をよりよいものとした。
- ・県外移動等の行動計画書と、健康観察、抗原検査を実施、感染予防の意識が高まっている。
また、感染レベルや、県等の感染における情報を得たうえで、感染対策を柔軟に対応している

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・重点目標に対して、考え・方策が変化していることが大事である。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

（2）令和4年度実施目標（別紙2参照）

① 各行事における生徒達成感をもたせる ②生徒指導の充実 ③学生募集から就職指導の一貫指導

各行事における生徒達成感をもたせる

○感染状況を鑑み、休止していた「ヘアフェスティバル」「ヘアショー」を計画、実施できるよう準備をしていく。生徒主体で学習成果を発表する場として達成感を得られるよう、教職員一体となり取り組んでいく。オープンキャンパスを引き続きクラス単位で行うことで、愛校心と、クラスの連帯感を持たせる。

生徒指導の充実

○生徒指導における学年主任中心とした学年におけるチームティーチングの構築

・担任個別指導→学年における情報共有→学年主任含む多者面談→職員全体の情報共有

学年で生徒情報を共有することで、個別面談だけではなく、多くの職員の声掛け等により生徒自身の存在感を持たせ、退学、休学者を作らない学校づくりを徹底する。

学生募集から就職指導の一貫指導

○就職指導を生活指導の延長ととらえ、就職部からの情報収集を行い、クラス担任が主体となって内定まで指導を続ける。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・理美容業界・ディーラー・学校が上手く、協力し合い稼働していきたい。時代に合わせた教育。みんなで考え、実行していくしかない。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・業界と学校が協力し、インスタLIVEが実施出来るとよいのでは。サロンにとってもリクルートに繋がる良い機会である。
- ・継続していくことが大切である。地元サロンの協力体制がある学校。大きな特色になるのでは。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・お客様に寄り添う事のできる人間力の高い人材育成に力を入れていく。

最終まとめ

- ・やるべきことを一つずつ丁寧に頑張っていってほしい。協力は惜しまない。

3. 次回予定

令和4年度第1回学校関係者評価委員会 令和4年8月2日（火） 14:00～